

令和7年度 第2回 松江市ものづくり振興会議

【議事要旨】

1. 日時

令和8年3月25日(水)10:30~12:00

2. 会場

テクノパークしまね4階大会議室（島根県松江市北陵町1番地）

3. 出席者

(1) 出席委員

金崎委員、谷口委員、高橋委員、田中委員、湯野川委員、福頼委員、松崎委員、内藤委員、金築委員、柏井委員、松尾委員、服部委員（代理 太田様 井上様）、大屋委員、田立委員、青砥委員、松浦委員、小松原委員、荒田委員、井原委員、野村委員

(2) 欠席委員

壽山委員、山中委員、天崎委員、田代委員

(3) 事務局

桑垣産業経済部長、高田産業経済部次長、福間ものづくり産業支援センター長、飯塚産業支援係長

4. 次第

(1) 開会挨拶

(2) 報告事項

ア 令和7年度ものづくりアクションプラン事業実績

① 報告事項

② 補助支援制度の実績

③ その他支援活動の取組実績

イ 令和8年度の取組

(3) 閉会

5. 議事

報告事項を事務局から説明

<質問・意見>

(荒田委員)

三菱マヒンドラ関連の施策についてである。島根県が実施する補助金に松江市が上乘せをするというものだが、補助率の計算方法がややこしく、最終的に企業が受ける補助率を支援機関でも勘違いをしていた。27日の説明会では、企業の方に正確に分かるように、きちっと説明をお願いしたい。

(事務局)

27日の説明会では、最終的に企業が受ける支援が分かるように説明させていただく。

(松崎委員)

今年度の補助支援制度は、非常に高い執行率で、良い制度だったというふうに感じている。先ほどの説明の中で、来年度の補助金の予算額については、通常の補助金が4,000万円とエネルギーコスト削減対策が6,000万円で、合計1億円の予算という理解でよろしいか。

(事務局)

来年度予算については、財政当局とも協議し、エネルギーコスト削減対策補助金を含め、合わせて1億円程度になるような形での予算化ということになった。

(松崎委員)

今年度は当初予算が5,500万円で、そのあと調整して、合計6,000万円だったと思っているが、仮に国の財源を使用しているエネルギーコスト削減対策がなければ、来年度の通常の補助金の予算は今年度よりも減る可能性があったということになるのか。心配しているのは、再来年度にエネルギーコスト削減対策がなくなった場合に、製造業に対する補助金の予算がもしかしたら減るのではないかということである。近年機械の単価が非常に上がってきており、今までの補助額やメニューではすべてのニーズを満たすことができないのではないかと思っている。予算を拡大し、補助額や補助メニューの枠自体を広げていかないと、企業が制度を利用してもあまり効果がでなくなってしまうのではないかと、不安を持っている。その辺もご考慮いただき、今後の予算枠を確保していただきたい。

(事務局)

来年度については、特別な財源があったということでご報告した額になっているが、再来年度以降については、また例年ベースは今後も確保したいと、財政当局と話し合っているところである。それから、おっしゃるような物価高騰があるので、その部分については、今後どういうふうに対応していくのか検討させていただきたい。

(金崎委員)

私は三菱マヒンドラ農機の仕事を請け負っており、今回の件の対応については、県も市も非常に早く対応していただき、また、いろいろところで発信していただいております、非常に感謝しています。まだこれからいろいろな問題が出るかと思うが、継続的に支援していただきたい。中でもお願いしたいのが、三菱マヒンドラ農機の従業員への雇用支援はいろいろされているが、我々協力企業の従業員への支援も念頭に置いていただきたいということである。我々としては、従業員を守るのだという思いでやっているが、仕事が減ってしまえば、本当に断腸の思いで、人員整理をしていかなければならない場合も出てくる。そのため、我々協力企業の従業員への支援も必要だということをご認識いただきたいというふうに思っている。

また、これは私の事業のことではあるが、私どもは熱処理をやっており、熱処理をするためには、ガスが必要である。使用しているガスは特殊なガスであり、このあたりだと私どもと三菱マヒンドラ農機の2社が、山陰酸素工業から供給してもらっている。先般、山陰酸素工業が来社され、今後の供給が難しいということを言われた。供給がなければ事業をやめるしかなくなってしまうため、山陰酸素工業の方に、いろいろ提案をして、何とか事業が継続できるようにということをお願いしているところである。しかし、それには新しい設備の導入が必要ではないかというふうに思っている。導入しないといけない設備があまりにも高額であれば、廃業しないといけないという場合も考えられる。このことについても相談に乗っていただければと思っている。

また、来年度の補助金の中に熱中症対策があったと思う。先般、島根県が熱中症対策の補助金があったと思うが、それは鋳造を行っている業種が対象であり、我々は対象にならなかった。今回の支援では、我々も対象になるのか。

(事務局)

三菱マヒンドラ農機の事業撤退への対応は、引き続き一緒になって支援をさせていただければと思っている。また、先ほどの山陰酸素工業の件については、後ほど詳細をお聞かせいただきたい。加えて、熱中症対策であるが、これは松江市の単独事業であり、業種については製造業を対象としている。島根県や国の方は、従業員の年齢や業種などで、いわゆる本当に熱中症対策が欠かせないであろうところをご支援されていると思うが、今回松江市では、補助率や補助上限は低いですが、補助対象は幅広く設計し使いやすくしたところである。

(谷口委員)

まず三菱マヒンドラ農機の問題は、先ほど金崎委員も詳しく言っていただいたため、私から改めて言うことないかもしれないが、重ねて対応をよろしくお願ひしたいと思う。特に、私の方から見ての話だが、仕事がもとどおりに戻ってくるかどうかは難しいかもしれないという気がしている。伴走しながら、ご支援を改めてお願ひしたい。

その他だが、新設のエネルギーコスト削減対策補助金についてだが、島根県のものと同用ができるということだが、島根県と松江市のもので違いがあるのか。また、エネルギーコスト削減対策補助金は設備導入補助金や環境負荷軽減補助金などと補助対象が重なる部分もあると思うが、できれば私の希望としては、このエネルギーコスト削減対策補助金については、適用範囲をできるだけ広く考え

ていただきたいと思う。例えば、既存設備の改良による長寿命化は、製造部門にとって非常に重要になっている。新しい設備を買う場合にはいろいろ対象になる補助金があるが、既存の設備を修繕する改良するという点については、なかなか対象となる補助金がない。その辺も是非考えていただければありがたい。

もう1つ、松江ものづくり.netについては、いろいろ考えていただいているが、1つだけ申し上げると、資料18ページの「⑤その他の取組」については、是非対応していただきたい。掲載企業でのページ修正機能やSNSでの情報発信など、そのようなことも大事だと思う。また、前も申し上げたが、画面を含め全体的に古いイメージがあるため、新しく刷新していただければと思う。

(事務局)

まず、エネルギーコスト削減対策補助金について、島根県との違いであるが、基本的に島根県の方で対象になるものは松江市でも対象になる。島根県と松江市の違いについては、みなし大企業が対象になるかならないかというところである。

(青砥委員)

島根県産業振興課長の青砥です。エネルギーコスト削減対策補助金については、松江市が県の方に上乗せできるという支援策を作っていただいております。基本は県の方で補助対象かどうか判断するようになる。谷口委員がおっしゃるように、補助対象をなるべく広くするように意識して制度設計をしている。エネルギーコストを削減できるのであったら、なんでも対象にしており、先ほどおっしゃった、改良や修繕であっても対象になる。単純に修繕をして、何も変わらなかったら対象にはできないが、修繕することによって性能が上がることは想定されるし、修繕や改良により、固定資産に計上されるような改良であれば、対象にできるというふうに思っており、とにかく幅広くしているところである。それを松江市が補助額を上乗せすることによって、より使い勝手がいい制度になっていると思っているところである。

(事務局)

谷口委員がおっしゃった更新や改良の部分は対象になるが、それが省エネにつながっているというところの説明をつけていただくことが必要となる。そこは購入されるときに、メーカーサイドとご相談いただきたい。そういったところがクリアできれば、エネルギーコスト削減対策補助金はかなり幅広く使えるのではないかと考えているので、是非ご活用いただきたい。

また、松江ものづくり.netについては、おっしゃる通りであり、レイアウトの刷新の他、SNS等の情報発信によって、閲覧数そのものを伸ばしていきたいと思っている。

(井上様(服部委員代理))

島根大学の井上です。9ページの企業訪問の実績を拝見し、1,168件ということが書いてある。なかなか企業の情報だと公開することが難しいかもしれないが、大卒でも構わないのでどういう相談が寄せられていて、どういう問題があるのか、是非大学や他の会社とかにも共有いただけると、今度はこちらからこういうことができるがいかがですかということを提案できる。是非ご検討いただき

たい。実際今、島根県の産業振興課とSOPという枠組みでそういうことを始めており、是非広げていきたいと思っている。

(事務局)

訪問の中身については、大枠で言えば補助金活用相談が一番多い。また、こちらから行政情報、特に補助金情報であったり、松江ものづくり.netの掲載情報の更新であったり、そういった内容で訪問をさせていただいている。その中には、こういったことをやろうと思っているが、一緒にやってもらえるような企業はないか、こういう新しいことやりたいのだけれども、こういうことをやっている企業はないかというようなお問合せのマッチングなども承っておるところである。特に最近については、三菱マヒンドラ農機の事業撤退が発表されたので、皆様に経営状況とか取引状況などもお聞きしているところである。

先ほどご提案いただいた情報の共有については、個人情報や機密情報も含まれており、共有できる情報を選別していく必要がある。相談いただいた企業の方にもご理解をいただいた上での共有になるかと思うので、検討させていただきたい。

5. 所管課

松江市産業経済部ものづくり産業支援センター

電話：0852-60-7101